



講演する登山家の青木達哉さん＝龍ヶ崎市若柴町

失敗恐れずチャレンジを

愛国学園龍ヶ崎高 登山家・青木さん講演

愛国学園大付属龍ヶ崎高（龍ヶ崎市若柴町、倉持正男校長）で昨年12月20日、創立60周年を祝う式典があり、守谷市出身の登山家、青木達哉さん（40）が記念講演で生徒約70人に「失敗を恐れずにチャレンジしてほしい」と呼びかけた。

同校は1965年に創立の女子校。千葉県や都内に

姉妹校や短大・大学などがある。

青木さんは2006年、パキスタンにある世界第2の高峰K2（8611メートル）に史上最年少の21歳で登頂に成功。現在も登山活動を続けながら、つくば市内にあるクライミングジムの店長を務める。青木さんの弟が同校の教員を務める縁で

講演が行われた。

講演では、K2のほか、米国・ヨセミテ国立公園の岩壁やヒマラヤのキャシヤール峰など、これまでに登った山などについて、実際に撮影した写真や動画を交えて紹介。過酷ながらも登山に魅了される理由を「精神的にも肉体的にも成長させられた」と話した。

自身の経験を踏まえ一周りの目を気にしてやらないのはもったいない。好きなことを突き詰めると一つの道になる。やってみたいことに恐れずにチャレンジして」とエールを送った。

質疑応答の時間もあり、これまでで一番危険を感じた経験を聞かれると、登山中に顔面に落石を受け、出血したことを挙げた。

3年生の桑山さくらさん（17）は「青木さんの話を聞いたり、映像を見たりして、登山への興味が湧いてきた。自分の好きなことを夢にしてチャレンジできた」と話した。